

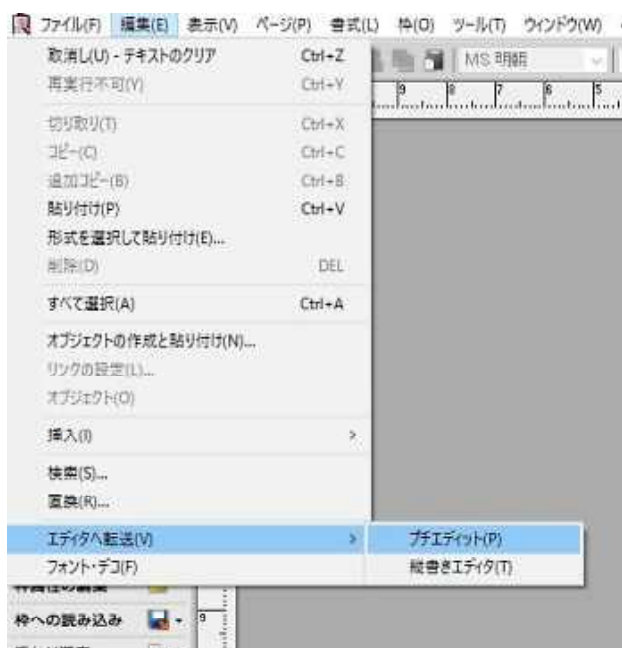
パーソナル編集長講座④「文章の導入」

2016.2.24 武田

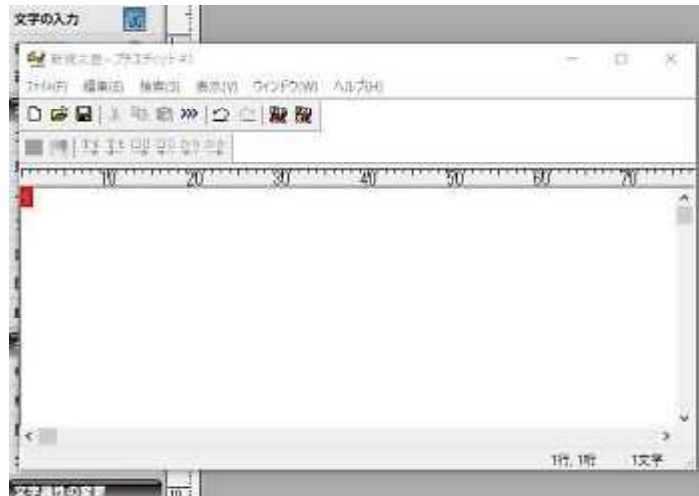
1. 今回は文章枠（コラム枠と言う）の作成した後、文章を記入もしくは導入の方法を最初にやりましょう。まず、ツールの「枠・図形の選択（矢印）」になっているか確認します。その後、オブジェクトの作成の「コラム枠の作成」を選択してからマウスで範囲を指定します。



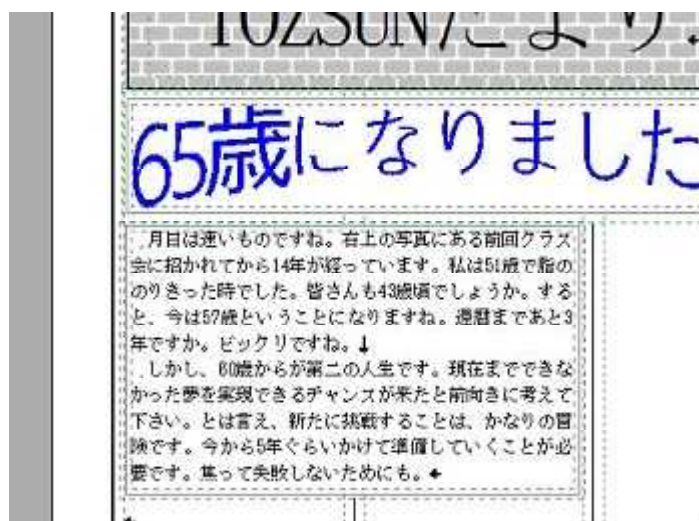
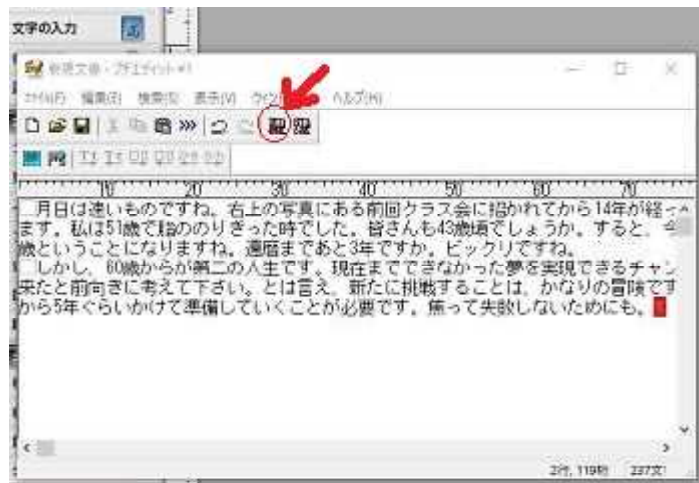
2. その後、文章を導入する場合は、ツールの「文字の入力（あ）」を選択した後に、メニューの「編集」→「エディタへ転送」→「フチエディット」を選びます。



3. すると、下のようなプレビュー画面が立ち上がります。ここに、文章を書いていきます。



4. 書き終わったら、赤矢印のボタンを押すと、最初に設定したコラム枠の中に導入されていきます。



5. この後、その枠を選択しながら、オブジェクトの編集の「枠属性の編集」をクリックします。



6. すると、コラム枠内のいろいろな設定が出来ます。いろいろ自由に設定してみてください。



7. 残りのコラム枠も同様に設定しましょう。中見出しにも使えます。

http://www.tozsun.com/ 平成26年7月5日

TOZSUNだより.

65歳になりました!

光陰矢の如し.

月日は速いものですね。右上の写真にある前回クラス会に招かれてから14年が経っています。私は51歳で脂ののりきった時でした。皆さんも43歳頃でしょうか。すると、今は57歳ということになりますね。還暦まであと3年ですか。ビックリですね。↓

しかし、60歳からが第二の人生です。現在までできなかった夢を実現できるチャンスが来たかと前向きに考えて下さい。とは言え、新たに挑戦することは、かなりの冒険です。今から5年くらいかけて準備していくことが必要です。焦って失敗しないためにも。◆

61歳まで試行錯誤し、↓ キットを購入してビルド建築に挑戦◆

下の写真は今年の3月末の時点の様子です。↓

61歳の誕生日が来るまで、自転車で川沿いのツアーをしたり、外国旅行に行ったり、いろいろ模索していましたが、あるときホームページで見かけたログハウスのビルド建築が、コンピュータを自作したときのようにキットを購入すればできることが分ると、俄然やりたくなりました。↓

そのホームページには、コンボ（油圧シャベルカー）を相棒に建築している記事でしたので、これを手に入れば、力が無くても可能だと言うことに気づいたわけです。そこで、コマツ技術講習所のコンボ運転資格を取ることにしました。すると百人力で下記のような家が2軒もできてしまいました。自分ながら信じられませんが、現実には「やればできる。ただし道具を相棒に」が座右の銘ということになりました。そのため、道具を得るためには準備期間がどうしても必要になります。↓

さて、これからの計画ですが、ログハウス前に、大きめのテラスデッキをビルドし、その前方に花壇を作り、ガレージの前には、ピニンガや畑をいくつかつくりたいです。↓

狭ヶ京温泉にお越しの折は、その近所の山中にありますので、携帯（090-4816-3453）に連絡してから見学に来て下さい。↓

手伝いたい方も歓迎しています。ただ、私の母親（90歳）が埼玉県久喜市に健在ですので、日常は久喜市にいますので、ずっと行っているわけではありません。↓

また、週に4日間は、越谷駅近くの職場（教育関連の会社の手伝い）に通っています。意外と皆さんの近所で働いているわけです。似た人を見かけたというのは正しく、私なのです。夜の9時頃、日高屋で食事をよくしていますので、見かけたら声をかけてください。◆

6/1 久喜市観光バスで「福島・宮城の震災地を巡る旅」に参加してきました。福島第1原発の5、5km近くの諸戸町には人っ子一人いず、震災と津波の爪痕がそのままに放置されていました。↓

宮城などは大型トラックでゴミや家などは回収され、大きな原っぱになっており、昔そこに人や家がひしめいていたとは思えない有様でした。↓

放射能汚染で福島原発周辺は、家やゴミや船などが回収されず、そのままの状態だったわけです。もうここには人は住めないのですね。詳しくはホームページをご覧ください。◆

残り約194文字